

科目名 Course Name	国際文化論入門 Cultural Studies				ナンバリング No.	A2-011	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	廣澤 圭則						
連絡方法	質問等は授業終了後、あるいは C-Learning で対応。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	古代～近代のヨーロッパ、アジア文化史について、学習を行うものとする。 ① 本講義を通して、世界における文化の成り立ちについて学ぶことができるようにする。 ② 国際文化論について、深い教養と洞察を身に着けることができるようにする。 ③ 世界の歴史を学ぶとともに、国際文化の基礎的知識を習得できるようにする。						
授業の方法	パワーポイントを用いた講義形式にて授業を行う。 補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。 生徒諸君の理解度を図るため、期末試験に該当するプレゼンテーション発表を実施する。						
学習成果	L01	国際文化の礎となる諸概念について学ぶことができる。					
	L02	学習を通して、国際文化の歴史について考察することができる。					
	L03						
	L04	現代の国際文化の現状についての議論、推察をすることができる。					
課題に対する フィードバック	授業について質問があった際はメールまたは文書にて各自フィードバックする。						
教科書／ 参考図書	なし						
履修上の留意点 やルール等	① 折を見て質問を投げかけるので、生徒諸君は質問に回答できるようにしておくこと。 ② チャイムが鳴った後の遅刻は原則認めず、欠席とするので注意すること。 ③ 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	●実務経験(職種:サービス業 職歴:14 年) (科目名:国際文化論入門) 民間企業における管理職経験から社会人になる生徒諸君が自分で 思考したことを、自分の言葉で話せるよう、講義を通して導いていく。						

成績評価の方法と基準						
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				
		L01	L02	L03	L04	
授業参加態度	授業に参加する積極的態、こちらからの質問に対して自身の意見を明瞭に述べられた場合は満点する。		30			
レポート／作品	出欠確認も兼ねたレポートを提出してもら。授業に対する理解が反映されていた場合、既定提出回数に到達した場合は満点とする。		15			
発表	プレゼンテーションを実施してもら。発表内容と質疑応答について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べられていた場合は満点とする。	40				
小テスト	授業の理解度を示すため、適宜実施する。		15			
試験						
その他						
合 計		40	60			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(学習成果、成績評価等について)、イントロダクション
	事前・事後学習	講義開始に向けて、欧州と東洋の文明を自分なりに学習し、準備しておくこと
2	授業内容	西洋文化① エーゲ文明の勃興、ギリシャの発展とペルシア帝国、東西文明の衝突
	事前・事後学習	ギリシャとペルシア、それぞれの文明の違いを予習しておくこと
3	授業内容	西洋文化② アレクサンドロスの世界帝国と東西融合の夢、ヘレニズム文化
	事前・事後学習	アレクサンドロス(アレクサンダー大王)について予習しておくこと
4	授業内容	東洋文化① 春秋戦国時代、万里の長城、シルクロード、漢王朝の興亡
	事前・事後学習	古代中国(春秋戦国～漢)の歴史と文化を予習しておくこと
5	授業内容	西洋文化③ ローマ帝国の隆盛、カエサルとクレオパトラ、キリスト教のはじまり
	事前・事後学習	ローマ帝国とその文化について、予習しておくこと
6	授業内容	東洋文化② 三国志と倭国、隋と聖徳太子、唐の玄宗と遣唐使
	事前・事後学習	古代～中世における日中関係を独自に調べておくこと
7	授業内容	西洋文化④ ゲルマン民族の大移動、カール大帝とフランク王国、ローマ教皇
	事前・事後学習	現代ヨーロッパの礎となったフランク王国について予習しておくこと
8	授業内容	東西文化① 十字軍と東西交流、モンゴル帝国とタタールのくびき、元寇と日本
	事前・事後学習	モンゴル帝国がアジア、ヨーロッパに与えた影響を独自に調べておくこと
9	授業内容	西洋文化⑤ フランス革命の勃発、ナポレオンと大陸支配、産業革命
	事前・事後学習	フランス革命とナポレオンについて予習しておくこと
10	授業内容	西洋文化⑥ 植民地時代のアメリカと独立戦争、西部開拓時代、鎖国時代の日本
	事前・事後学習	アメリカの歴史と最初期の日米関係について、独自に調べておくこと
11	授業内容	東西文化② アヘン戦争と太平天国の乱、インド大反乱と独立運動
	事前・事後学習	当時の中国とインドが置かれた苦境について、独自に調べておくこと
12	授業内容	東西文化③ 帝国主義時代、日露戦争とロシア革命、第一次世界大戦後の国際連盟
	事前・事後学習	帝国主義時代から第一次世界大戦に至る国家間の衝突について、予習しておくこと
13	授業内容	学生によるプレゼンテーション①
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
14	授業内容	学生によるプレゼンテーション②
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと
15	授業内容	学生によるプレゼンテーション③
	事前・事後学習	プレゼン発表者は事前準備をしておくこと